



施設連 8月定例会

藤井寺市社会福祉施設連絡会の平成30年度8月定例会が、8月8日(水)午後2時から、藤井寺市立福祉会館(北岡1丁目)で開催され、今後のあり方や活動報告事案が出され活発な議論を行った。

定例会当日は、連日続く酷暑の中、31名が出席し、会議が執り行われた。冒頭、開会挨拶の中で、奥田会長は、大阪北部地震の災害ボランティア活動(活動先:茨木市)に施設連から迅速にまた一丸に参加できたとの謝辞を述べられた。

新たに小委員会を設置！

小委員会の設置については、前回定例会の中で、会員施設がより主体となって活動を展開していくためのひとつとして、『とっくり委員会』に続く、「小委員会」などを設置してはどうかという意見が契機となったものである。本件については、「パール&社協フェスタ」の企画運営を担う委員会をまずは設置する運びとなった。早速出席者からはこの委員会に参加したいという声が上がっている。



とっくり委員会について【報告】

7月26日に開催した『とっくり委員会(大谷委員長:高殿苑)』の報告。

事例検討で出されたひとつに、『高齢者の就労支援について』の報告があった。就労意欲が強いが高齢により就労の目途がなく生

とっくり委員会 (7月) 案件

- ◆施設・サービス紹介 (しゅらの郷福祉会)
- ◆事例検討 (3事例)
- ◆地域資源マップ
- ◆講演会の企画
- ◆他

活困難に陥っているにも関わらず、生活保護などの行政サービスの利用を拒否されている方の支援の難しさはあるが、このような方にこそ寄り添い見守っていく支援の重要性を訴えた。

また今後の予定として地域資源のマップについては、『災害』をキーワードとして取り掛かること、『大人の引きこもり』をテーマにした講演会を企画している等の説明があった。いずれも詳細が決まり次第その都度周知していくということであった。

藤井寺市(生活支援課)からの報告

藤井寺市生活支援課の松中チーフ(自立相談支援担当)から、相談援助事例の報告と平成30年度の自立相談支援件数の報告がなされた。相談件数は昨年度と比較すると微小ではあるものの、ほとんど差異ない。特徴的な事項としては、女性相談者が増加にあり、今後も注視していくとのことだ

あった。また、相談者の就労支援においては、約8割は就労に就くことができているので、今後とも、周知活動を積極的にを行い、制度の敷居を下げていきたいと意欲的に報告された。

その他、住宅確保給付金の説明など参加者からの質問に対して、松中氏は、丁寧に説明され、当該事業には、本会との連携が不可欠であり、引き続き連携と協力を求められた。

赤い羽根共同募金(街頭募金)の協力について

事務局(市社協)の前原職員から、赤い羽根の街頭募金の協力依頼があった。街頭募金の方法など改善の必要性を感じているものの、今年度については昨年度と同様の方法でお願いしたいとのことであった。日時等の詳細については、追って連絡することであった。

～次回の予定～ “とっくり委員会”

日時：平成30年9月27日(木)
14時～15時30分
場所：福祉会館

“定例会”

日時：平成30年10月10日(水)
14時～15時30分
場所：みささぎ会
藤井寺特別養護老人ホーム

